

「そんなにいっぱい叫んで幸せなんだね♡」
「手もこんなに強くぎゅーって握り返してくれるもんね♡」

2
2
2



「あはこれで何十回目のお漏らしだったけっ♡」
「でもまだまだキミのおちんちんはとっても元気♡」

ちゅっ♡





「私の大好きって気持ちがあつぷり籠ったお薬が効いてる証拠だね♡」

シロロ〜



「そのお薬があるとなね、キミが私しか見れなくなっちゃうんだ♡
後遺症でちょっぴりお馬鹿さんになっちゃうかもしれないけど、

私が一生一緒にいてあげるから大丈夫♡」

「だからJJJドゥーとJJJドゥーだよ。」

「キミが私以外どっかでモモよくなっちゃったまで永遠に、気持ち良くなるからね♡」

「ふふっ♡」
「ふふっ♡」





はあ...♡

はあ...♡
はあ...♡

はあ...♡



はあ...♡

はあ...♡
はあ...♡

はあ...♡

はあ...♡

はあ...♡





はぁ...♡

はぁ...♡

はぁ...♡

はぁ...♡

はぁ...♡



「お金のことなら大丈夫だよ♡アイドルで沢山稼いだもん♡

キミが働かなくなったって私だけで養ってあげれるから♡

二人で赤ちゃん作って、ちよっぴり贅沢しても全然足りちやう♡」

はあ…♡

はあ…♡

♡ト♡
♡ト♡



「子供は二人は欲しいよね♡私二人っ子だったから子供には寂しくさせたくないんだ♡
その為にももっとキミの赤ちゃんの元を搾り出さないとね♡」

はぁ…♡
はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ…♡



「見て？キミのおちんちんから出てきたオタマジャクシが私のおっぱいで泳いでるよ？
膣内射精(中出し)じゃないのはもったいないけど、キミおっぱい大好きだからいいよね」

はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ…♡
はぁ…♡





はあ...♡
はあ...♡

はあ...♡

はあ...♡
はあ...♡

はあ...♡
はあ...♡
はあ...♡





はあ...♡

はあ...♡
はあ...♡

はあ...♡
はあ...♡

はあ...♡
はあ...♡
はあ...♡
はあ...♡
はあ...♡
はあ...♡





キィン
キィン
キィン

キィン
キィン
キィン

ん
ん
ん

キィン
キィン
キィン

キィン
キィン
キィン

キィン
キィン
キィン

キィン
キィン
キィン



「ほおん〜一緒だよ♡」

ほおん♡♡♡

ほおん♡♡♡

ほおん♡































